

訂正版

<参考資料>

※3, 4, 5スライドにおける画像の表記について  
誤りがありましたので、訂正しております。  
(平成26年4月30日訂正)

## 福島第一原子力発電所 4号機使用済燃料プールから 取り出した燃料の外観点検結果について

平成26年4月30日  
東京電力株式会社



東京電力

# 外観点検結果概要

## ■ 目的

燃料健全性および燃料取扱上の問題がないことを再確認するために、共用プールにおいて、燃料集合体を覆っているチャンネルボックスを取り外し外観点検を実施。

## ■ 点検時期

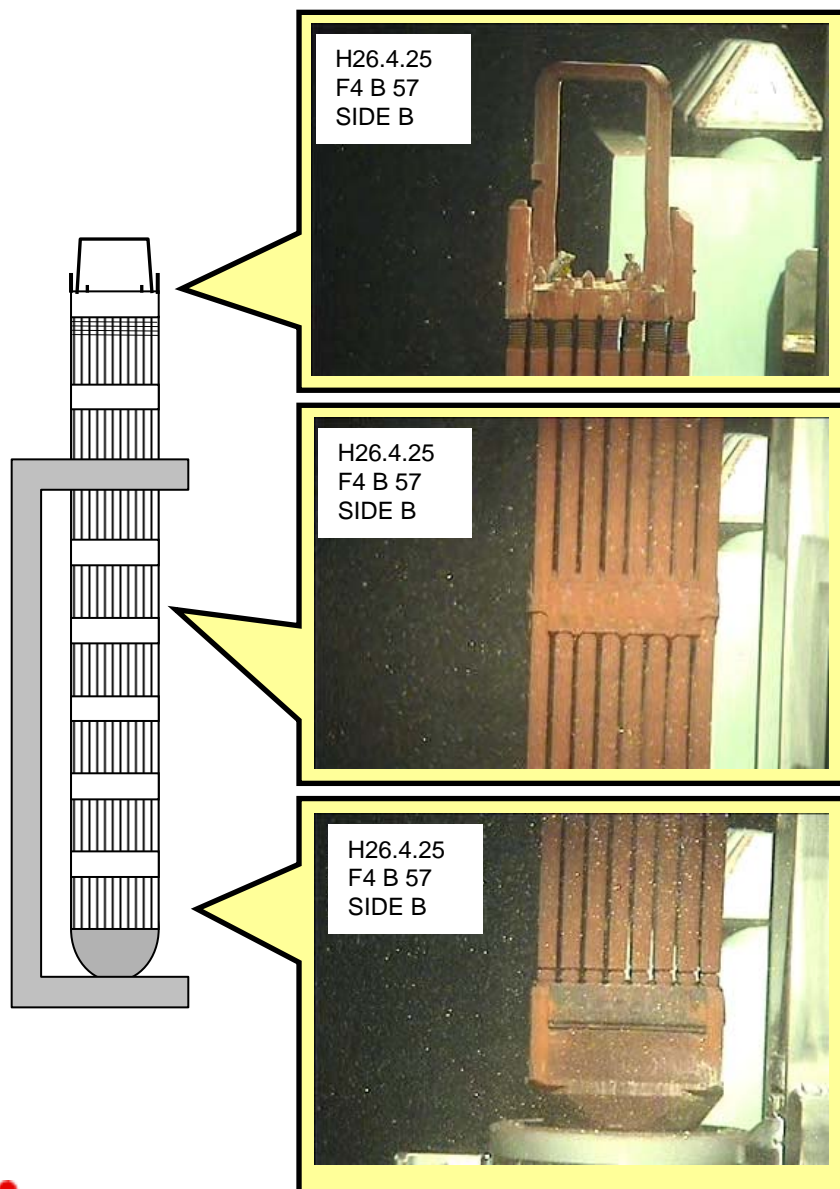
平成26年4月22, 25日

## ■ 点検結果

- ① 4号機使用済燃料プールに保管していた燃料タイプそれぞれについて1体ずつ選択した（計4体）。
- ② 燃料集合体の荷重伝達箇所（結合燃料棒・上下部タイププレート）や燃料被覆管に燃料健全性および燃料取扱上、問題となる腐食や損傷がないことを確認した。
- ③ 燃料集合体内へのがれき混入や一部の燃料タイプ（8×8燃料、新型8×8ジルコニウム炉燃料）で固定ワッシャの変形が確認されたが、燃料健全性および燃料取扱上、問題とならないことを確認した。

引き続き、4号機からの燃料取り出し作業については、安全第一で進めていく。

# 点検結果概要（燃料タイプ 8×8燃料①）



## ＜腐食・損傷状況＞

燃料集合体の荷重伝達箇所（結合燃料棒・上下部タイププレート）、燃料被覆管に腐食や損傷は確認されなかった。

## ＜燃料棒間げき状況＞

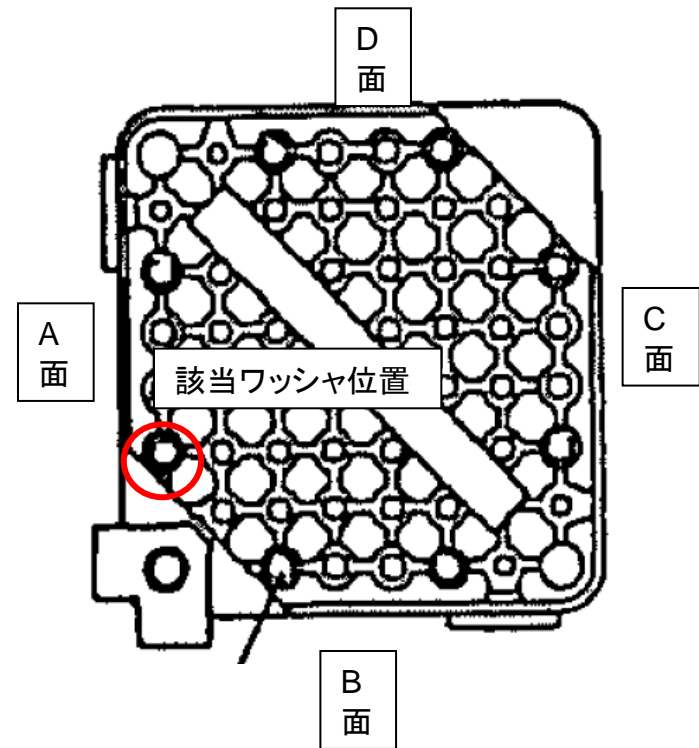
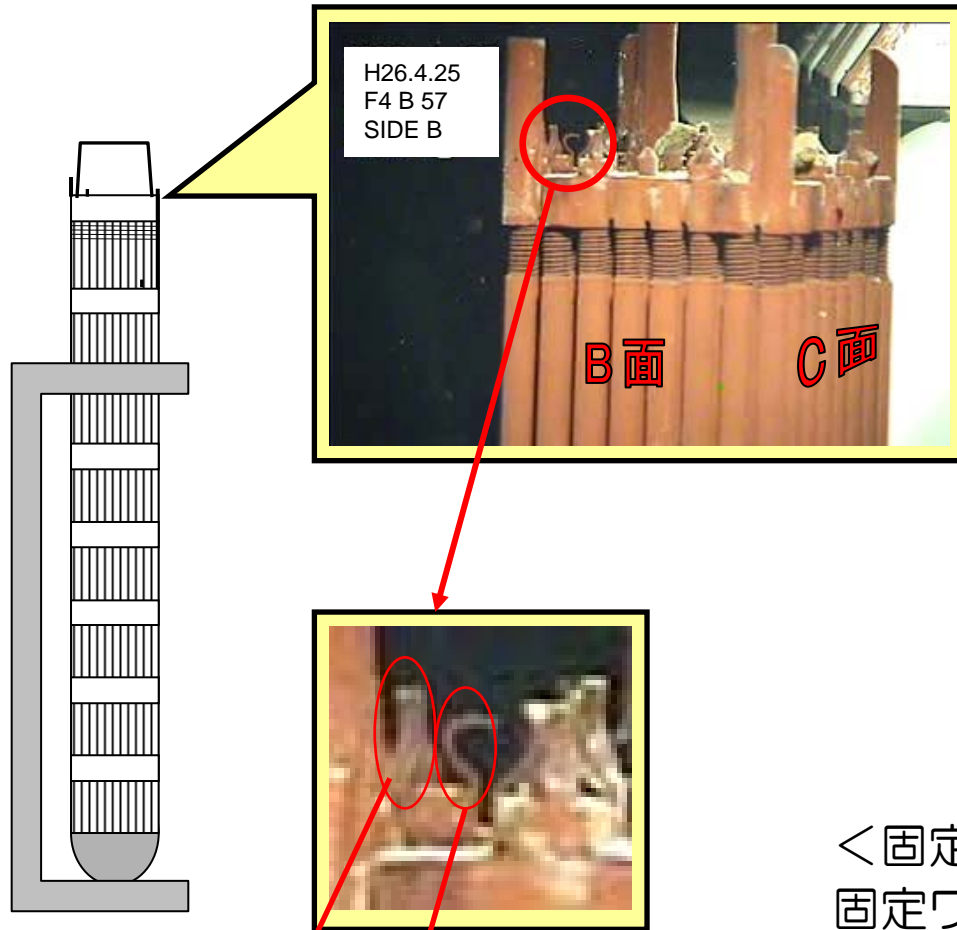
燃料棒の変形等はなく、燃料棒間げき状況に問題がないことを確認した。

## ＜がれき混入状況＞

燃料集合体内に数mm程度の微小ながれきが混入していたが、燃料被覆管に損傷等は確認されなかった。

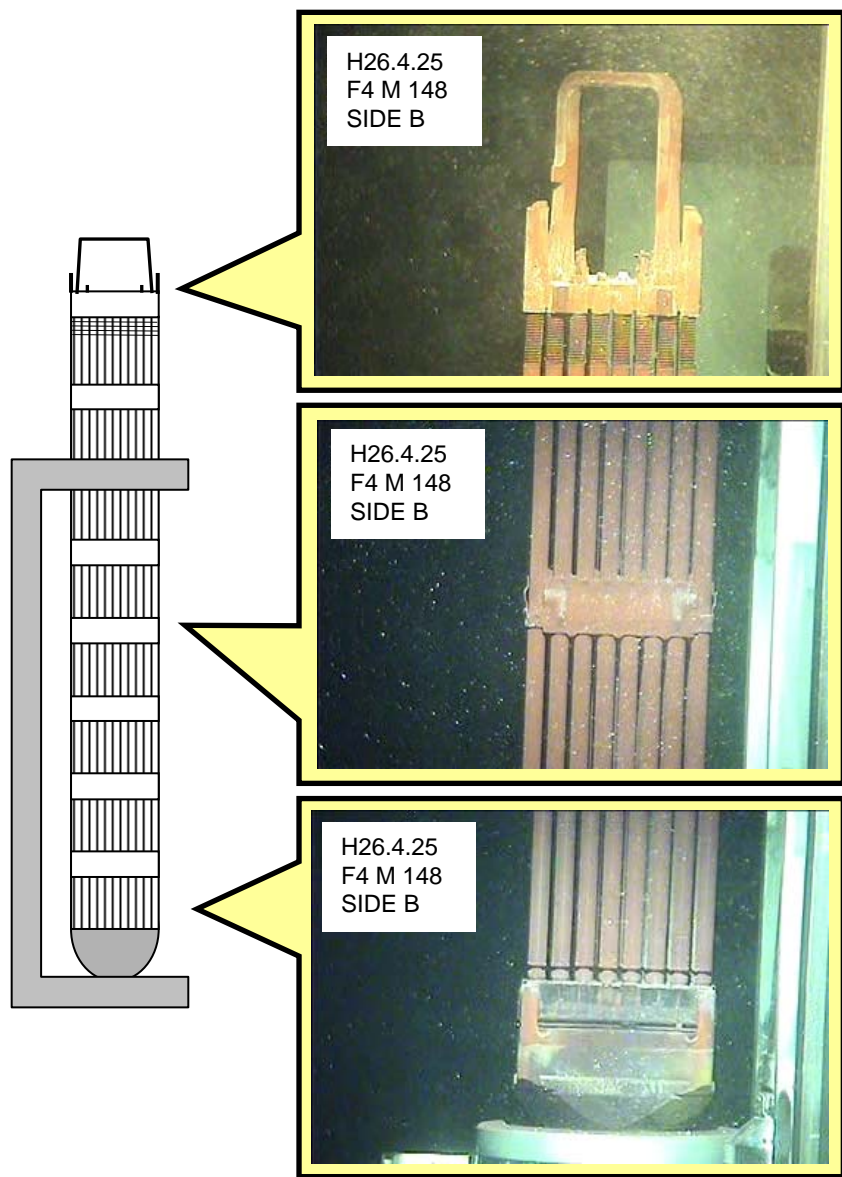
→外観観察の結果、燃料健全性および燃料取扱上、問題となるような腐食や損傷がないことを確認した。

# 点検結果概要（燃料タイプ 8×8燃料②）



＜固定ワッシャ（まわり止め）の状況＞  
固定ワッシャの一部に変形が確認された。  
→燃料集合体の荷重伝達箇所ではない、また、固定ワッシャの機能が失われてはいないため、燃料健全性および燃料取扱上、問題とならない。

# 点検結果概要（燃料タイプ 新型8×8ジルコニウムライク燃料）



## <腐食・損傷状況>

燃料集合体の荷重伝達箇所（結合燃料棒・上下部タイププレート）、燃料被覆管に腐食や損傷は確認されなかった。

## <燃料棒間げき状況>

燃料棒の変形等はなく、燃料棒間げき状況に問題がないことを確認した。

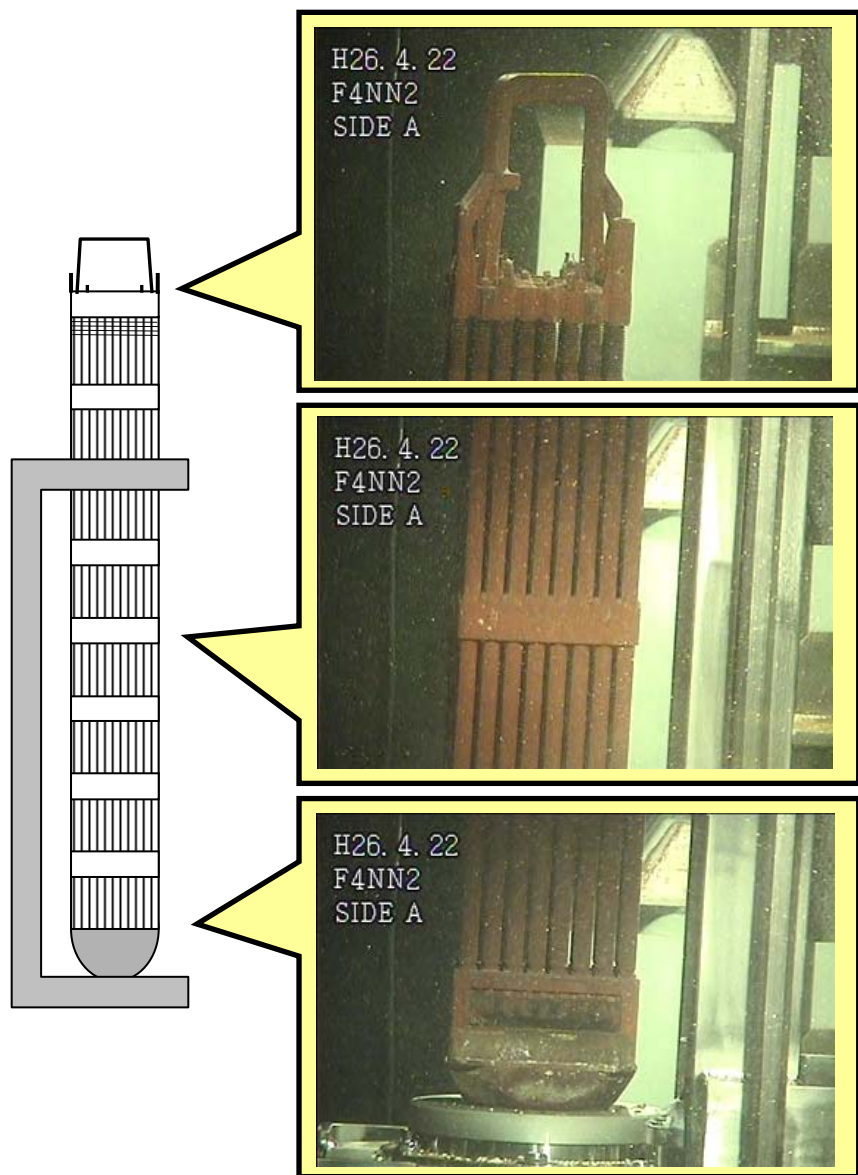
## <がれき混入状況>

燃料集合体内に数mm程度の微小ながれきが混入していたが、燃料被覆管に損傷等は確認されなかった。

→外観観察の結果、燃料健全性および燃料取扱上、問題となるような腐食や損傷がないことを確認した。



# 点検結果概要（燃料タイプ 高燃焼度8×8燃料）



## <腐食・損傷状況>

燃料集合体の荷重伝達箇所（結合燃料棒・上下部タイププレート）、燃料被覆管に腐食や損傷は確認されなかった。

## <燃料棒間げき状況>

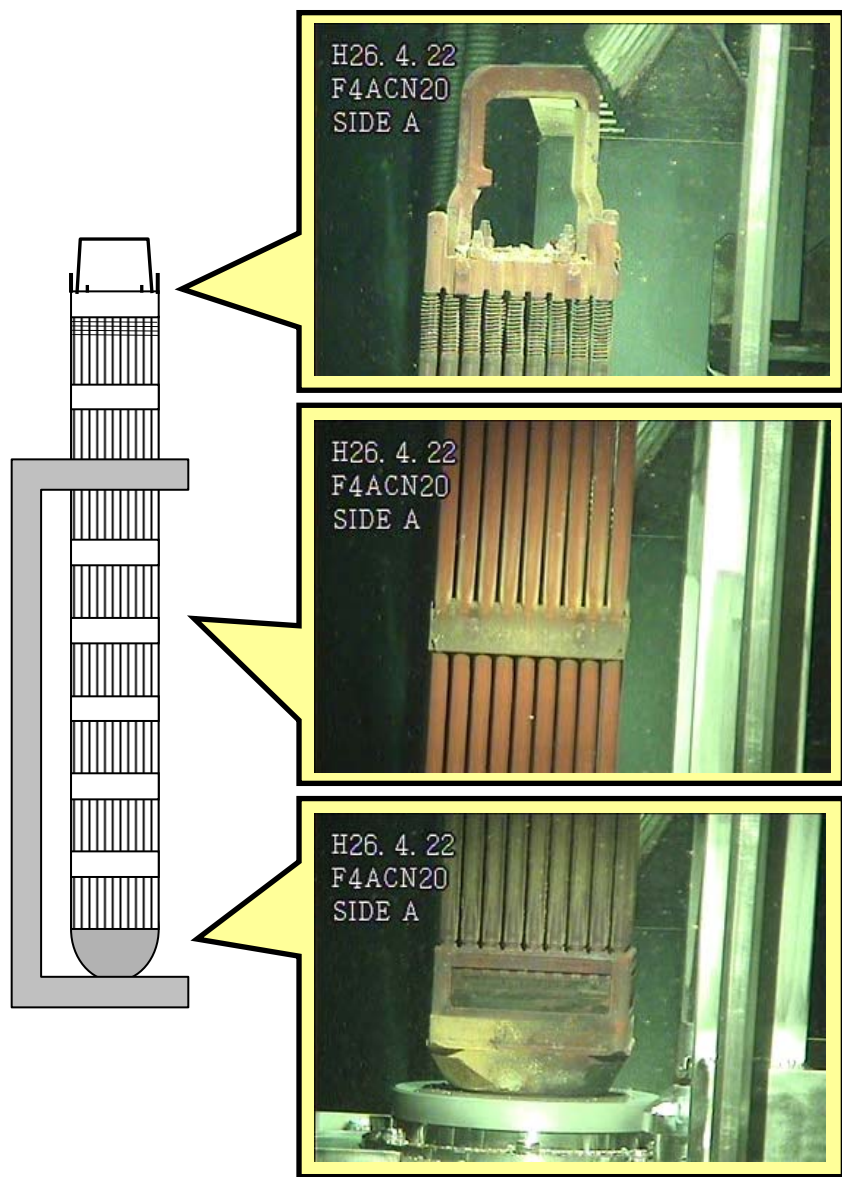
燃料棒の変形等はなく、燃料棒間げき状況に問題がないことを確認した。

## <がれき混入状況>

燃料集合体内に数mm程度の微小ながれきが混入していたが燃料被覆管に損傷等は確認されなかった。

→外観観察の結果、燃料健全性および燃料取扱上、問題となるような腐食や損傷がないことを確認した。

# 点検結果概要（燃料タイプ 9×9燃料（B型））



## <腐食・損傷状況>

燃料集合体の荷重伝達箇所（結合燃料棒・上下部タイププレート）、燃料被覆管に腐食や損傷は確認されなかった。

## <燃料棒間げき状況>

燃料棒の変形等はなく、燃料棒間げき状況に問題がないことを確認した。

## <がれき混入状況>

燃料集合体内に数mm程度の微小ながれきが混入していたが、燃料被覆管に損傷等は確認されなかった。

→外観観察の結果、燃料健全性および燃料取扱上、問題となるような腐食や損傷がないことを確認した。